

## 会長の挨拶 19 職業の本質—その6—

職業はその近代化の過程で多くが組織化され、組織原則に従って合理的に運用されて行くことになり、その合理的運用が商品の質の向上と市場支配力を強めて行くということになり、更にその生産組織における人的・物的エネルギーの供給及び配分の合理化が必要になり、当然のことながら管理機構の担任者と労働者との二つの専門に分けられる。この管理者と労働者との分類は、その組織は、その組織内での地位の相違から、思考の発想、責任感、企業の危険負担等々が殆ど異なるので、確かに二分されるに足るだけの要素は存在する。一般的にはこの要素は経営と労働という対立概念として認められている。

伝統的企業組織において、経営者の地位は他の一般の会社員の地位とは法律的にもその取り扱いを明確に異にし、その権限や責任もその概念構成を異にしていることは言うまでもない。

(小堀憲助著 『ロータリー思想の理論構造』より引用)